

日本メンテナンス工業会「メンテナンス技術賞」受賞 技術統括部 篠原 誠さん

技術統括部の篠原誠さんが、「溶接技術の開発及び普及」によってプラントメンテナンス分野の作業合理化、安全性向上に寄与したとして第9回日本メンテナンス工業会表彰「メンテナンス技術賞」を受賞されました。

2016年度に創設された当表彰制度は、「一般社団法人日本メンテナンス工業会」がプラントメンテナンス業全般の発展、メンテナンスに関わる技術・技能、人材育成および社会への貢献等において顕著な成果を収めたと認定された企業、個人の功績を表彰する制度であり、今年度は「メンテナンスマイスター賞」5名、「メンテナンススペシャリスト賞」5名、「メンテナンス技術賞」3名、「メンテナンス奨励・普及賞」2名が選出されました。

(当工業会表彰制度の紹介サイト、<https://www.jamsec.jp/introduction/award/>)

1. 篠原さん プロフィール

1984年4月に株式会社高田工業所に入社、その年の夏に初めての出張でアフリカ大陸のアルジェリアに赴任、アルミサッシ製作工場の建設工事に1年間従事され、社会人1年目で多くの経験を積まれました。

帰国後は、国内法規（原子炉等規制法・電気事業法・ガス事業法・高圧ガス保安法）の溶接施工法の取得に関しての検証などを通じて、溶接技術の開発に力を注いでこられました。中でも、当社が特殊材料と位置付けている非鉄金属・軽金属・活性金属などの溶接技術向上への貢献は大きく、更に溶接の品質向上や効率化を目的とした自動溶接技術の開発・展開にも尽力されました。現在は、40数年にわたり培われた溶接技術のデータベース化に力を注がれています。

2. 篠原さん 喜びの声

この度は、「メンテナンス技術賞」をいただき大変名誉なことと思っております。このような名誉ある賞を受賞できましたのも、皆様からの多大なるご協力とご指導いただいたおかげと思っており、感謝の気持ちでいっぱいです。また、評価していただいた審査員の方々にもお礼を申し上げます。

これからの目標としては、今まで培ってきた溶接技術のノウハウを含めた溶接技術データを蓄積・整理し、検索性の高いシステムを構築することで、経験の少ない後輩の技術員でも活用しやすい方を講じていくことを考えています。

これからも努力を怠らず、この名誉ある賞に恥じることはないように精進し、溶接技術の伝承に力を注いでまいります。



メンテナンス技術賞を受賞された篠原さん. 高田社長と共に.